

R2年度 公益活動推進アクションプランの進捗状況

資料1

基本施策・施策の方向性	取組み内容	事業名	内容	担当課	R2年度 目標	R2年度 実績	R2年度目標に対する達成状況	達成状況を踏まえ今後の課題・方向性	今後の方向性	最終R4年度目標
1 人材育成（担い手育成） (1)市民の意識醸成	①ボランティア育成・入門講座、公益活動に資する講座や研修会等の開催	インバウンド推進事業	在庄内の外国人に対して酒田市の観光について研修会を実施し、ボランティアガイド（対インバウンド）の育成を図る。	交流観光課	3回	6回	達成	コロナ禍にあって厳しい状況であるが、アフターコロナを見据えて継続を図る。	継続	維持(3回/年)
1 人材育成（担い手育成） (1)市民の意識醸成	①ボランティア育成・入門講座、公益活動に資する講座や研修会等の開催	市民交流推進事業	関係団体と協力して日本語指導の専門家による日本語サポーター初心者講座を開催する。	地域共生課	14人	受講者 14人	達成	関係団体と協力して、講座の開催方法や周知方法を工夫しながら目標達成を目指す。	継続	15人/年
1 人材育成（担い手育成） (1)市民の意識醸成	①ボランティア育成・入門講座、公益活動に資する講座や研修会等の開催	小中高生ボランティア教育	夏休みを使っのボランティア体験会や学校への出前講座等を実施し、小中高生へのボランティア教育の推進を図る。	まちづくり推進課（ボラポートさかた）	①25人 ②2校	①43人 ②0校	未達成	新型コロナにより夏のボランティア体験は開催できなかったため、時期をずらして秋のボランティア体験として規模を縮小し実施した。学校へのボランティア教育は、新型コロナのため実施できなかった。	継続	①30人/年 ②4校/年
1 人材育成（担い手育成） (1)市民の意識醸成	①ボランティア育成・入門講座、公益活動に資する講座や研修会等の開催	公益活動に関する研修会	公益活動に関する研修会を実施し、市民の協働のまちづくりの意識醸成を図る。	まちづくり推進課（ボラポートさかた）	230人	40人	未達成	新型コロナのため多くの人が集まる機会をつくることは難しかったが、新補助金の制度説明会をリモートも取り入れつつ実施した。加えて、コロナ差別を防止するための取り組みであるシトラスリボンの作成ワークショップを開催した。	継続	250人/年
1 人材育成（担い手育成） (1)市民の意識醸成	①ボランティア育成・入門講座、公益活動に資する講座や研修会等の開催	福祉の担い手育成事業（高齢者疑似体験事業）	小中学生が後期高齢者の身体的変化を再現する用具を使用し、高齢者の身体的・心理的变化を疑似的に体験。高齢者等への理解を深め、関わり方を学ぶ。（市社会福祉協議会に委託）	福祉課	15回	13回	未達成	他事業との連携を検討する。	継続	15回/年
1 人材育成（担い手育成） (1)市民の意識醸成	①ボランティア育成・入門講座、公益活動に資する講座や研修会等の開催	意思疎通支援事業（手話奉仕員養成講座）	手話教室として、手話奉仕員養成講座及びステップアップ講座を開催し、聴覚障がいに関する理解を深め、手話奉仕員の養成を図る。（市社会福祉協議会に委託）	福祉課	30人	22人	未達成	手話・要約筆記奉仕員は、技能習得に長い時間を要するため容易に増員できない。また既存奉仕員の高齢化のため減員が生じている。手話教室の継続による長期的な取り組みが必要である。	継続	維持（30人/年）
1 人材育成（担い手育成） (1)市民の意識醸成	①ボランティア育成・入門講座、公益活動に資する講座や研修会等の開催	ボランティア養成講座（ブックスタート支援事業）	健康課や図書館と連携し、3か月児の健康診査時にボランティアにより読み聞かせを行い、本を通じた親子のふれあいや絆づくりを支援する事業。毎年ボランティアスタッフを公募し、養成講座を開催している。平成30年度から新たにワークショップを開催している。	子育て支援課（図書館健康課）	1回	1回	達成	新型コロナの影響で、読み聞かせの実演ができず、ボランティアの活動の場がない状況が続いている。令和3年度より主管課が図書館へ変更。	継続	維持（1回/年）
1 人材育成（担い手育成） (1)市民の意識醸成	①ボランティア育成・入門講座、公益活動に資する講座や研修会等の開催	ブックスタートボランティアフォローアップ講座（ブックスタート支援事業）	ブックスタートボランティアのスキル向上や悩み解決のために毎年フォローアップ講座を開催している。	子育て支援課（図書館健康課）	1回	1回	達成	新型コロナの影響で、読み聞かせの実演ができず、ボランティアの活動の場がない状況が続いている。令和3年度より主管課が図書館へ変更。	継続	維持（1回/年）
1 人材育成（担い手育成） (1)市民の意識醸成	①ボランティア育成・入門講座、公益活動に資する講座や研修会等の開催	認知症サポーター養成講座	認知症を理解し介護予防を推進する人材を育成する。	介護保険課	1,300人	修了者数 339人	未達成	認知症の理解と当事者への適切な対応ができるように、主に若年層や金融機関・小売業等の従事者を中心に働きかけ、引き続き講座を開催していく。	継続	1,300人/年
1 人材育成（担い手育成） (1)市民の意識醸成	①ボランティア育成・入門講座、公益活動に資する講座や研修会等の開催	担い手養成講座	地域での居場所づくりや生活支援等の担い手を養成する。	介護保険課	25人	講演会参加者数46人	達成	R2年度はコロナ禍のため予定していた講座を中止し、リーダー研修会として感染症予防の講演会を開催。今後はコロナ禍でも担い手養成講座を開催できる体制を整えていきたい。	継続	25人/年
1 人材育成（担い手育成） (1)市民の意識醸成	①ボランティア育成・入門講座、公益活動に資する講座や研修会等の開催	酒田市食生活改善推進員養成講座【健康さかた21計画推進事業】	地域で健康づくり支援に携わる酒田市食生活改善推進員を養成する講習会を拡充し、人材を育成を図る。	健康課	25人	0人	未達成	令和2年度は新型コロナ拡大防止のため講座を中止。令和3年度は感染拡大防止対策をとりながらの実施となるため20名の定員で行う予定だが対象年齢を上げ対象枠を広げている。今後も健康寿命延伸のため養成講座受講者数の確保に努める。	縮小	維持（25人/年）
1 人材育成（担い手育成） (1)市民の意識醸成	①ボランティア育成・入門講座、公益活動に資する講座や研修会等の開催	美化サポーター花の育て方講習会（公園都市構想事業）	美化サポーター花の育て方講習会の開催。（隔年1回）	整備課	1回	0回	未達成	コロナ禍により開催中止。状況によっては今後も実施できない可能性がある。	継続	維持（隔年実施で5年間で計3回実施）
1 人材育成（担い手育成） (1)市民の意識醸成	①ボランティア育成・入門講座、公益活動に資する講座や研修会等の開催	森林ボランティア育成事業	森に親しみ、市民自らの手で森林を守る機運を醸成するため、こみ拾い、松木の枝打ちおよび下刈りボランティア（年4回）の実施および市内小中学校の森林ボランティアに協力する。	農林水産課	2,000人	880人	未達成	令和2年度はコロナ禍により、中止した事業もあり未達成となった。森林に親しみ、市民自らの手で森林を守る機運を醸成するため、本事業を継続していく。	継続	2,000人/年
1 人材育成（担い手育成） (1)市民の意識醸成	①ボランティア育成・入門講座、公益活動に資する講座や研修会等の開催	中高生ボランティア支援事業	ボランティアに関するセミナーや研修会への参加支援、募金活動、子どもまつりや巨大迷路、生涯学習まつりでのボランティア活動等。	社会教育文化課	継続	継続	達成	継続実施	継続	継続

R2年度 公益活動推進アクションプランの進捗状況

資料1

基本施策・施策の方向性	取組み内容	事業名	内容	担当課	R2年度 目標	R2年度 実績	R2年度目標に対する達成状況	達成状況を踏まえ今後の課題・方向性	今後の方向性	最終R4年度目標
1 人材育成(担い手育成) (1)市民の意識醸成	②地域全体の支え合いの関係づくりや連携、研修機会の充実	地域運営組織づくり(地域運営組織形成モデル事業ほか)	地域課題を解決するため、地域住民によるワークショップを開催し、地域運営組織づくりや地域活性化プランを作成・実施する。(地域運営組織形成モデル事業:大沢・田沢地区、その他:南部・日向地区)	まちづくり推進課 八幡・平田・松山総合支所地域振興課	5地区	7地区	達成	地域活性化プラン策定済は3地区となっているが、策定に向けた取り組みを進めている地区は5地区となっており、地域課題解決に向けた取り組みが拡大してきている。地域運営組織形成モデル事業は令和2年度で終了したが、今後は、策定途中となっている地区への支援を継続しつつ、さらに他地区へも波及・展開していく。	継続	6地区/年
1 人材育成(担い手育成) (1)市民の意識醸成	②地域全体の支え合いの関係づくりや連携、研修機会の充実	地域支え合い活動推進事業(地域支え合い活動研修会)	学区社協・コミ振において住民同士で地域課題を共有し、地域の社会福祉資源や強みを結び付け、地域の支え合いとしての実践・仕組みづくり支援する。(市社会福祉協議会と協働)	福祉課	6件	取組件数4件	未達成	引き続き、活動支援を継続する。	継続	5年間で8件
1 人材育成(担い手育成) (1)市民の意識醸成	②地域全体の支え合いの関係づくりや連携、研修機会の充実	子育て応援団意見交換会	市内で活動している子育て応援団同士の意見交換会を行ない、活動内容の紹介や悩み等を話し合い、情報共有や課題解決に向けて取り組んでいる。	子育て支援課	2回	1回	未達成	新型コロナの影響で、活動の縮小、休止の傾向が続いている。加えて、従来からの課題である、担い手の高齢化、補助の縮小も、その傾向に拍車をかけている。	継続	維持(2回/年)
1 人材育成(担い手育成) (1)市民の意識醸成	②地域全体の支え合いの関係づくりや連携、研修機会の充実	ママさんボランティア登録促進	児童センターの「おはなしひろば」の際に絵本の読み聞かせをしたり、「食育講座」等講座開催時の託児や各種事業の際にお手伝いをしてくれるボランティアの登録を行い、地域で子育てを支える仕組みづくりを促進する。	子育て支援課	13人	12人	未達成	新型コロナの影響で、令和2年度以降、食育講座の開催を見合わせており、ボランティアを集める機会が限定されている。	継続	延べ16人
1 人材育成(担い手育成) (1)市民の意識醸成	②地域全体の支え合いの関係づくりや連携、研修機会の充実	学校・家庭・地域の連携協働推進事業	放課後子ども教室の実施。(放課後の子どもの居場所づくりと地域住民との交流および地域の教育力の向上)	社会教育文化課	1箇所以上	なし	未達成	地域の実情に合わせ、それぞれの各地域の活動として取り組む。	廃止	1箇所以上/年
1 人材育成(担い手育成) (1)市民の意識醸成	③ボランティア・公益活動に対する市民顕彰の促進	環境衛生功労者表彰	環境衛生功労者への感謝状の贈呈を行う。	環境衛生課	20人	12人	未達成	今後も衛生功労者の市民顕彰の場として引き続き実施していく。	継続	20人/年
1 人材育成(担い手育成) (1)市民の意識醸成	③ボランティア・公益活動に対する市民顕彰の促進	前田福祉基金事業(社会福祉協議会表彰)	故前田巖氏の遺志に基づき、社会福祉の発展のため寄与した者の表彰を行い、福祉の増進を図る。(市社会福祉協議会と共催で開催)	福祉課	2個人・団体	2団体表彰	達成	継続する。	継続	維持(2団体(個人)/年)
1 人材育成(担い手育成) (2)市職員の意識醸成	①「協働」に係る職員の研修会の参加促進	派遣研修事業	「協働」に係る市職員の研修会の派遣参加促進。	人事課	5人	2人	未達成	コロナウイルスの影響により、東北公益文科大学の地域共創コーディネーター要請プログラムや県研修所で行われる研修の一部が中止となり、目標が未達成となった。次年度も、社会情勢を考慮しながら、引き続き派遣を継続する。	継続	維持(5人/年)
1 人材育成(担い手育成) (2)市職員の意識醸成	①「協働」に係る職員の研修会の参加促進	基本研修事業	「協働」にかかる市職員研修会の実施。	人事課	4.0点以上	4.6点	達成	「協働」の考え方やスキルを身につけるため、中級スタッフ研修の内容で「市民参画促進の手法」を実施している。次年度も継続し、職員のスキルアップに繋げる。	継続	4.0点以上
1 人材育成(担い手育成) (2)市職員の意識醸成	①「協働」に係る職員の研修会の参加促進	環境対策事業	環境省主催「環境パートナーシップ研修」への参加。	環境衛生課	5年間で1人	0人	達成	平成29年度に職員派遣している。今後また職員派遣を検討したいがコロナ禍により令和3年の開催は不透明。	継続	維持(5年間で1人)
1 人材育成(担い手育成) (2)市職員の意識醸成	②ボランティア・公益活動への参加促進の体制づくり	「ボランティア休暇制度」の制度周知	職員への「ボランティア休暇制度」の制度周知を図る。	人事課	継続	達成	達成	休暇制度等の職員向け説明マニュアルにボランティア休暇に関する事項を記載している。今後も、庁内掲示板等を利用し、休暇制度について周知していく。	継続	継続
1 人材育成(担い手育成) (2)市職員の意識醸成	②ボランティア・公益活動への参加促進の体制づくり	庁内の公益活動に関する情報(活動・資金等の情報)の共有、発信	庁内各課に集まる公益活動に関する情報や外部団体向けの資金情報(補助金等)を情報掲示板の中で庁内で共有するとともに、必要な団体への情報提供につなげていく。	まちづくり推進課 各課	実施	継続	未達成	災害ボランティアの募集情報などを庁内電子掲示板で周知を行った。	継続	実施
1 人材育成(担い手育成) (2)市職員の意識醸成	②ボランティア・公益活動への参加促進の体制づくり	公園都市構想事業	光ヶ丘地区環境美化ボランティア活動の実施。(年2回)	整備課	2回	1回	未達成	春の活動をコロナ禍により開催中止。状況によっては今後も実施できない可能性がある。	継続	維持(2回/年)
1 人材育成(担い手育成) (2)市職員の意識醸成	②ボランティア・公益活動への参加促進の体制づくり	他団体(小牧川清掃活動・新井田川の清掃活動等)事業に対するボランティアの呼びかけ。	職員への環境美化活動参加の呼びかけ。	整備課 各課	継続	継続	達成	課題は特になし。事業については継続する。	継続	継続
1 人材育成(担い手育成) (2)市職員の意識醸成	③協働推進のマニュアルづくりの検討	協働推進のマニュアル作成	市職員向けの協働推進マニュアルの作成を検討する。	まちづくり推進課	作成済	検討中	未達成	令和3年度からの制度実施に合わせて、年度内には策定する予定	継続	作成

R2年度 公益活動推進アクションプランの進捗状況

資料1

基本施策・施策の方向性	取組み内容	事業名	内容	担当課	R2年度 目標	R2年度 実績	R2年度目標に対する達成状況	達成状況を踏まえ今後の課題・方向性	今後の方向性	最終R4年度目標
1 人材育成 (担い手育成) (3)リーダー育成	①地域のリーダー育成	地域のリーダー研修会	地域のリーダー研修会を通してリーダーの担い手育成。	まちづくり推進課 (ポラポートさかた)	1回	1回	達成	コロナ禍ではあったが、ボランティアコーディネーションカ3級検定を実施し、多くの参加者から受講いただいた。	継続	1回/年
1 人材育成 (担い手育成) (3)リーダー育成	①地域のリーダー育成	地域共創人材の育成研修会参加への呼びかけ	コミ振職員や自治会役員等へ地域共創コーディネーターの受講への積極的な呼びかけを行い、地域のリーダー育成を行っていく。	まちづくり推進課	1人以上	0人	未達成	令和2年度は新型コロナによりプログラム自体が休講となってしまった。令和3年度は1人受講する意向あり。	継続	5年間で5人以上
1 人材育成 (担い手育成) (3)リーダー育成	①地域のリーダー育成	廃棄物減量等推進員研修会	各地区ごとの研修会へとつなげるため、地区代表である推進員への研修会を年1回実施する。	環境衛生課	1回	1回	達成	推進員の役割を継続的に担い、地区の活動に努めていただく。	継続	維持(1回/年)
1 人材育成 (担い手育成) (3)リーダー育成	①地域のリーダー育成	地域の教育力向上事業	地域全体で「地域の子」「社会の子」として、子どもと地域の人々と交流できる機会を設け、人づきあいについて学んだり、自然に社会のルールを身につけたり、自分の考えをしっかりと伝える力などをはぐくむことができるよう、地域の特性を活かした青少年の体験活動や健全育成に係わる講座などを実施。	社会教育文化課 (交付金はまち課)	継続	継続	達成	継続実施	継続	継続
1 人材育成 (担い手育成) (3)リーダー育成	①地域のリーダー育成	地域の教育力向上スキルアップ事業	コミュニティ振興会の職員を対象とした研修および情報交換会。	社会教育文化課	継続	継続	達成	継続実施	継続	継続
1 人材育成 (担い手育成) (3)リーダー育成	②組織の育成やコーディネータ業務のできる人材育成	団体リーダー研修会	団体リーダー研修会の検討・実施。	まちづくり推進課 (ポラポートさかた)	1回	0回	未達成	コロナ禍であったため、独自の研修会は開催できなかった。令和3年度では、コロナの状況を勘案しながら開催を検討していく。	継続	1回/年
2 環境づくり (1)センターの運営と利用促進	①センター機能(相談・コーディネート等)の充実	ポラポートさかた職員の研修会の参加促進	ポラポートさかた職員の地域共創コーディネーターの講座受講。	まちづくり推進課 (ポラポートさかた)	100%	3人のうち1人	未達成	令和2年度は新型コロナによりプログラム自体が休講となってしまった。令和3年度は1人受講する予定。	継続	100%
2 環境づくり (1)センターの運営と利用促進	①センター機能(相談・コーディネート等)の充実	ポラポートさかたでの相談体制の充実	30年度からボランティアセンターと公益活動支援センターが一元的な運営を行うことで、より相談体制の充実を図り、センター利用の促進につなげていく。	まちづくり推進課 (ポラポートさかた)	1,622件	883件	未達成	地域共創コーディネーターの資格を持った推進員を常駐させるなど、相談体制の充実にも努めた。新型コロナによりボランティア活動も停滞したため、件数は減少している。	継続	1,670件/年
2 環境づくり (1)センターの運営と利用促進	②交流ひろばの利用促進、登録団体の増加	交流ひろば利用の減免	ポラポートさかたに登録した団体に対して、公益活動を推進するため交流ひろばの減免を行い、利用促進を図る。	まちづくり推進課 (ポラポートさかた)	10,000人	3,712件	未達成	令和2年度からは、全庁的に減免基準の見直しが進んでいることから、全額減免から2分の1減免となった。新型コロナの影響により、利用は減少してしまった。	継続	10,500人/年
2 環境づくり (1)センターの運営と利用促進	②交流ひろばの利用促進、登録団体の増加	ポラポートさかたへの登録の促進	ポラポートさかたへの登録によるメリット(減免、情報の受発信等)をPRすることで登録を促進し、メール等を利用して登録団体からの情報提供をスムーズに行うとともに、センターの利用促進につなげていく。	まちづくり推進課 (ポラポートさかた)	155団体	142団体	未達成	公益活動支援補助金への申請を考えている団体を中心に新規登録があった。公益性の高い活動をしている団体も多いため、支援を継続していきたい。	継続	175団体/年
2 環境づくり (1)センターの運営と利用促進	②交流ひろばの利用促進、登録団体の増加	活動拠点の検討	市所有を有効活用した、活動拠点の検討。	まちづくり推進課 (ポラポートさかた)	-	検討	達成	令和2年度は、団体向けの貸し出しロッカーの利用動向を行った。新規での施設整備は困難であるため、既存の施設で活用可能なところがないか情報収集をしていく。	継続	検討結果の実施
2 環境づくり (2)活動支援の整備	①ボランティア活動に対する活動支援	酒田市緑化・美化ボランティア支援制度(公園都市構想事業)	道路・公園・河川等の環境美化活動を行う市民等(美化サポーター)を保険加入や活動資材の提供(ゴミ袋、花のタネ、花苗、球根、肥料等)、貸与草刈り機械の貸出及び機械用燃料の支給。	整備課 まちづくり推進課	12,229人	12,441人	達成	新規団体の登録もみられるが、高齢化等により、継続が困難となる団体が多いため、今後活動人数の減少が懸念される。事業については、継続したい。	継続	12,300人/年
2 環境づくり (2)活動支援の整備	①ボランティア活動に対する活動支援	やさしいまちづくり除雪援助事業(除雪ボランティア)	自力での除雪が困難な高齢者や障がい者の方に除雪協力者(地域のボランティア)を配置し、生活通路の除雪を実施。	福祉課	800人	785人	未達成	引き続き、報償金交付による活動支援を継続する。	継続	800人/年
2 環境づくり (2)活動支援の整備	①ボランティア活動に対する活動支援	地域子育て応援団活動の支援(少子化対策地域推進事業交付金)	地域の子育て支援に意欲のある方、民生委員・児童委員や主任児童委員、子育てサークルなど多世代が参加する地域子育て応援団の活動を支援する。	子育て支援課	100%	100%	達成	地域で活動する子育て応援団等の活動に対し、補助金を交付するものであるが、新型コロナの影響で、活動自体が減少していることに加え、財源である県補助金について、打ち切りを示唆されている。今後の方向性について検討中。	継続	100%

R2年度 公益活動推進アクションプランの進捗状況

資料1

基本施策・施策の方向性	取組み内容	事業名	内容	担当課	R2年度 目標	R2年度 実績	R2年度目標に対する達成状況	達成状況を踏まえ今後の課題・方向性	今後の方向性	最終R4年度目標
2 環境づくり (2)活動支援の整備	①ボランティア活動に対する活動支援	介護予防ボランティアポイント事業	高齢者の介護予防と社会参加促進のため、介護施設等でのボランティア活動へポイントを付与し、市事業利用券等の還元を行う。	介護保険課	30人	ボランティア登録人数 17人	未達成	R2年度に市内全域に受入れ事業所を拡大した。今後は地域の通いの場の担い手の方へも登録を促し、高齢者の社会参加を促進したい。	継続	40人/年
2 環境づくり (2)活動支援の整備	②公益活動団体に対する活動支援	飛島ボランティア活動支援補助金	飛島でボランティア活動を行う団体に対し、活動支援補助金として定期船運搬費相当額を補助する。	まちづくり推進課 (ポラポートさかた)	10団体	3団体	未達成	新型コロナによる来島自粛、定期船の欠航により利用人数は伸びなかった。飛島は課題先進地であり、その解決のためにも、今後もボランティアの渡航を補助していく。	継続	10団体/年
2 環境づくり (2)活動支援の整備	②公益活動団体に対する活動支援	公益活動支援補助金	公益活動に対して、事業費の2/3以内(30万以内)で補助金を交付し、公益活動の支援を行う。(R3年度より見直し)	まちづくり推進課 (ポラポートさかた)	-	8団体	達成	団体へのヒアリング等を通じた検討により、公益活動支援補助金も制度改正したうえで、存続させることになった。	継続	新制度検討中
2 環境づくり (2)活動支援の整備	②公益活動団体に対する活動支援	相互提案型補助金の検討・実施	市民活動団体と行政がそれぞれの得意分野を活かした協働事業を推進するための補助金制度を検討し、実施する。	まちづくり推進課 (ポラポートさかた)	試行実施	試行実施	達成	モデル事業として酒田南高給本の会と事業を実施した。令和3年度から本格的に事業の企画化に入っていく。	拡大	実施
2 環境づくり (2)活動支援の整備	②公益活動団体に対する活動支援	まちをきれいにする運動	市民、関係団体の積極的な参加と協力のもと、まちの美化、清掃等を行うもの。	環境衛生課	継続	春季はコロナ対策のため一部中止したが、概ね実施	達成	今後も継続して環境美化に努めていただく。	継続	継続
2 環境づくり (2)活動支援の整備	②公益活動団体に対する活動支援	ごみ減量化推進事業	各団体へ資源再利用運動事業報償金の交付。	環境衛生課	280団体	247団体	未達成	参加団体の増加を目指し、市の広報等で周知を図る。	継続	280団体/年
2 環境づくり (2)活動支援の整備	②公益活動団体に対する活動支援	市民サークル「環境フォーラムさかた」の活動支援(環境対策事業)	平成29年度に立ち上げた環境保全思想普及のための市民サークル「環境フォーラムさかた」の活動支援。(酒田市:事務局)	環境衛生課	150人	会員数44名	未達成	会員数の増加を目指し周知を図る。	継続	250人
2 環境づくり (2)活動支援の整備	②公益活動団体に対する活動支援	手づくり公園整備事業	地域住民が地域の特色や要望等を取り入れて行う公園整備を支援するもの。	整備課	7箇所	9箇所	達成	R3年度の事業費が削減されたため、事業費の確保が課題となる。地域の要望があるため、事業については継続する。	継続	維持(7箇所/年)
2 環境づくり (2)活動支援の整備	③地域活動に対する活動支援	自治会集会施設建築費補助金	住民自治活動の拠点となる自治会集会施設の建設等に助成する。	まちづくり推進課	継続	継続	達成	住民自治の拠点である自治会館の修繕、住宅福祉機器の設置の補助を継続して実施した。令和2年度から先着方式から抽選方式に改め、より公平な制度とした。	継続	継続
2 環境づくり (2)活動支援の整備	③地域活動に対する活動支援	自治会空き家等見守り隊	管理不全で危険な空き家等の発見や監視などを行う空き家見守り隊を自治会で組織してもらい、市へ登録して空き家等の状況報告等を実施する自治会へ、見守り隊経費を交付金として支援する。	まちづくり推進課	143	141	未達成	地域に密着した組織である自治会の協力により、職員だけでは難しい継続した空き家の見守り活動を行っていただいている。	継続	150自治会
2 環境づくり (2)活動支援の整備	③地域活動に対する活動支援	世話役課長制度	自発的な地域課題解決に向けたさまざまな活動支援と、市や関係団体との連携のコーディネートの役割を担ってもらうことを目的に、各コミュニティ振興会に課長級の職員を世話役課長として配置をしている。	まちづくり推進課	継続	継続	達成	世話役課長が、地域の会合などに積極的に参加することにより、地域の意見や要望を吸い上げることができている。	継続	継続
2 環境づくり (2)活動支援の整備	③地域活動に対する活動支援	ひとつづくり・まちづくり総合交付金	地域が育んできた力を活かし、地域に合った取り組みを地域コミュニティ自らが自由に選択し実行できる交付金制度(ひとつづくり・まちづくり総合交付金)により、各地域の活性化を支援していく。	まちづくり推進課	100%	100%	達成	各地区の課題解決に向けて、地域計画(ビジョン)の策定のための経費及び地域の将来を担う人材を育成するための加算することにより、事業の検証や見直しが図れるよう取り組みを推進していく。	継続	100%
2 環境づくり (2)活動支援の整備	③地域活動に対する活動支援	ごみステーション整備支援事業	ごみステーションを新設または改築しようとする自治会に対し、その経費の一部を補助する。	環境衛生課	10件	7件	未達成	市広報等に掲載し周知を図る。	継続	10件/年
2 環境づくり (2)活動支援の整備	③地域活動に対する活動支援	廃棄物減量等推進員の設置	ごみの減量化及び再生利用を推進するため、各地区に推進員を設置する。	環境衛生課	36地区	36地区	達成	推進員の役割を継続的に担い、地区の活動に努めていただく。	継続	維持(36地区)
2 環境づくり (2)活動支援の整備	③地域活動に対する活動支援	地域支え合い活動推進事業(仕組みづくり立ち上げ補助金)	地域の日常的な支え合い活動の仕組みづくりに関する立ち上げ経費の10/10、上限20万円(人件費を除く)を2年間まで補助金として交付。	福祉課	1件	交付件数 1件	達成	引き続き、活動支援を継続する。	継続	維持(1件/年)
2 環境づくり (2)活動支援の整備	③地域活動に対する活動支援	老人クラブ助成事業	老人クラブ連合会に加入する老人クラブが実施する社会奉仕活動事業等に対して、補助金を交付。	福祉課	4,750人	3,764人	未達成	引き続き、補助金交付による活動支援を継続するが、市の財源からの負担が年々増加していることから、補助金の減額を行う。	縮小	4,750人/年

R2年度 公益活動推進アクションプランの進捗状況

資料1

基本施策・施策の方向性	取組み内容	事業名	内容	担当課	R2年度 目標	R2年度 実績	R2年度目標に対する達成状況	達成状況を踏まえ今後の課題・方向性	今後の方向性	最終R4年度目標
2 環境づくり (2)活動支援の整備	③地域活動に対する活動支援	新・草の根事業 (社会福祉総務費各種補助事業)	一人暮らし高齢者等の見守り支援活動や給食提供活動、サロン活動等を学区・地区社協を単位とした地域の民生委員、福祉協力員等が中心となり実施。 (実施主体：市社会福祉協議会、5/10補助)	福祉課	560人	518人	未達成	地域活動の担い手確保のため、新・草の根補助金の算定基準を、要支援者数から支援者数への見直しを実施し、増員に向けたインセンティブを設け目標達成にむけた後押しを実施。	拡大	600人/年
2 環境づくり (2)活動支援の整備	③地域活動に対する活動支援	多面的機能支払事業	水路、農道、ため池および法面等、農業を支える共用の施設を維持管理するための地域の共同作業を支援し、農業・農村の多面的機能の維持・発揮を図る。	農林水産課	10,837ha	10,482ha	未達成	目標はおおむね達成されている。今後も活動組織が作業を継続できるように支援していく	継続	維持(10,837(ha))
3 情報の収集・発信 (1)公益活動に関する情報の収集	①公益活動に係る情報(資金・講座等)を収集	ポラポートさかたでの公益活動に係る積極的な情報収集	市、県、国、企業等からの資金補助に係る情報収集をネット情報の提供を積極的に行っていく。	まちづくり推進課 (ポラポートさかた)	継続	継続	達成	メール会員を中心に積極的に補助金情報を発信できた。個別の相談があった際は、それに合致する補助金を紹介することもできた。	継続	継続
3 情報の収集・発信 (1)公益活動に関する情報の収集	②公益活動団体のネットワークによる情報収集	「環境フォーラムさかた」世話人会議の開催(環境対策事業)	環境保全思想普及のための市民サークル「環境フォーラムさかた」世話人会議の実施し、情報収集を行っていく。(酒田市:事務局)	環境衛生課	3回	2回	未達成	「環境フォーラムさかた」世話人会議は、開催回数は2回だったが、必要とする話し合いはできた。今後も開催を継続する。	継続	3回/年
3 情報の収集・発信 (1)公益活動に関する情報の収集	②公益活動団体のネットワークによる情報収集	団体情報誌の発行	ポラポートさかたに登録している団体の活動状況を確認し、団体情報誌を発行している。	まちづくり推進課 (ポラポートさかた)	1回	1回	達成	従来は、製本版と簡易印刷版を隔年でそれぞれ発行していたが、令和2年度から毎年製本版を発行することに統一した。	継続	維持(1回/年)
3 情報の収集・発信 (2)広報誌・SNS等利用した市民への情報提供	①公益活動団体のネットワークを活用したイベント情報の提供	公益活動情報のメール配信	あらかじめメール会員として登録していただいた方に公益活動情報等を発信。	まちづくり推進課 (ポラポートさかた)	220(団体・人)	211(団体・人)	未達成	年間を通して、積極的に補助金、各種研修会の案内等の発信を行った。今年春にコロナが流行し始めた際は、感染防止のための啓発メールも発信した。	継続	240(団体・個人)/年
3 情報の収集・発信 (2)広報誌・SNS等利用した市民への情報提供	②広報誌、SNS等活用した公益活動に対する理解や認識が深まる啓発	ポラポートさかただよりの発行	ポラポートさかただよりを発行し、市内各所、近隣3町(庄内町、遊佐町、三川町)の役場にも送付し、公益活動の情報提供を行っている。	まちづくり推進課 (ポラポートさかた)	9回	9回	達成	配布場所を工夫しながら、継続してPRを行っていく。愛称の決定に伴い、ロゴマークも作成したため、それを活用し目に留まるように工夫していきたい。	継続	維持(9回/年)
3 情報の収集・発信 (2)広報誌・SNS等利用した市民への情報提供	②広報誌、SNS等活用した公益活動に対する理解や認識が深まる啓発	ポラポートさかたHPの充実	ポラポートさかた独自のHPを立ち上げ、情報発信していく。	まちづくり推進課 (ポラポートさかた)	継続	開設済	達成	必要な情報をタイムラグなく載せるようにするなど、情報発信に努めていきたい。	継続	開設
3 情報の収集・発信 (2)広報誌・SNS等利用した市民への情報提供	②広報誌、SNS等活用した公益活動に対する理解や認識が深まる啓発	『環境かわら版』発行(環境対策事業)	環境情報提供メルマガ『環境かわら版』を活用した情報提供。(HP掲載予定)	環境衛生課	20回	2回	未達成	R3は定期発行を目指し、内容についても会員からの情報提供も募っていく。	継続	20回/年
3 情報の収集・発信 (2)広報誌・SNS等利用した市民への情報提供	②広報誌、SNS等活用した公益活動に対する理解や認識が深まる啓発	「ごみ出し情報」の発行(ごみ減量化推進事業)	「ごみ出し情報」の発行。	環境衛生課	3回	4回	達成	ごみ出しに関する旬な話題を提供できた。今後も市民の意識改革を図るため実施していく。	継続	維持(3回/年)
3 情報の収集・発信 (2)広報誌・SNS等利用した市民への情報提供	②広報誌、SNS等活用した公益活動に対する理解や認識が深まる啓発	子育てカレンダーの発行	毎月、子育て支援にかかわる事業をカレンダー式に作成し、子育て応援団の活動も掲載し、市のHPにアップしている。	子育て支援課	毎月発行	毎月発行	達成	今後も継続する。	継続	維持(毎月発行)
3 情報の収集・発信 (2)広報誌・SNS等利用した市民への情報提供	②広報誌、SNS等活用した公益活動に対する理解や認識が深まる啓発	公園都市構想だよりの発行(公園都市構想事業)	公園都市構想だよりの発行。	整備課	1回	1回	達成	課題は特になし。事業については継続する。	継続	維持(1回/年)
3 情報の収集・発信 (2)広報誌・SNS等利用した市民への情報提供	②広報誌、SNS等活用した公益活動に対する理解や認識が深まる啓発	市広報・HP・フェイスブック等の活用	全戸配布される市の広報やHP、フェイスブック等それぞれの利点を生かし、市民に分かりやすい情報発信を積極的に行っていく。	各課	継続	継続	達成	フェイスブック、ツイッター、インスタグラムに加えて、多くの市民が利用しているLINEの公式アカウントも開設し、各種SNSでの情報発信を行った。	継続	継続
4 参画機会の充実 (1)市民(団体)と行政との「協働」の推進	①対話型ワークショップの開催	鳥海山・飛島ジオパーク推進事業	地域振興としての八幡地域や飛島で、住民参加ワークショップを実施。	交流観光課	継続	・トビシマカンソウ保全作業 ・出前講座の実施	達成	コロナ禍によりガイド養成講座は中止したが、日本ジオパーク委員会から再認定を受け、世界ジオパークへ向けてさらなる協働をめざす。	継続	継続
4 参画機会の充実 (1)市民(団体)と行政との「協働」の推進	①対話型ワークショップの開催	とびしま未来協議会	島民・大学・NPO・県・市が一体となって協議会組織を運営し、島民座談会等を開催しながら、将来の飛島のあるべき姿に向けて島民主体の事業を展開する。	まちづくり推進課	205人	173人	未達成	島地域は、移住促進を図ったとしても、今後の人口減少を完全に抑制することは難しい。県内外へ飛島をPRし、交流人口の拡大を図ることで、島の振興、生活環境の維持に取り組んでいく。	継続	維持(205人)

R2年度 公益活動推進アクションプランの進捗状況

資料1

基本施策・施策の方向性	取組み内容	事業名	内容	担当課	R2年度 目標	R2年度 実績	R2年度目標に対する達成状況	達成状況を踏まえ今後の課題・方向性	今後の方向性	最終R4年度目標
4 参画機会の充実 (1) 市民(団体)と行政との「協働」の推進	①対話型ワークショップの開催	地域支え合い活動推進事業 (地域支え合い活動ワークショップ)	学区社協・コミ振において地域課題を共有し、要援護者を支える仕組みづくりを地域住民自身が自らの課題として考えるワークショップ(研修会)を開催の支援。(実施主体:市社会福祉協議会)	福祉課	2団体	0団体	未達成	引き続き、活動支援を継続する。	継続	取組団体数 2団体/年
4 参画機会の充実 (1) 市民(団体)と行政との「協働」の推進	①対話型ワークショップの開催	美化サポーター意見交換会 (公園都市構想事業)	美化サポーター意見交換会の開催(年1回)	整備課	1回	0回	未達成	コロナ禍により開催中止。状況によっては今後も実施できない可能性がある。	継続	維持(1回/年)
4 参画機会の充実 (1) 市民(団体)と行政との「協働」の推進	②協働事業(事業協力・協定・委託・補助・助成・共催・後援等)の促進	共催・後援による事業協力	事業実施者からの共催・後援許可申請に対し、市が前向きに対応することで協働事業を推進する。	総務課	継続	継続	達成	今後も引き続き事業実施者からの共催・後援許可申請に対し、市が前向きに対応することで協働事業を推進する。	継続	継続
4 参画機会の充実 (1) 市民(団体)と行政との「協働」の推進	②協働事業(事業協力・協定・委託・補助・助成・共催・後援等)の促進	酒田交流おもてなし市民会議運営事業	観光・交流に関する事業者等で組織する会議を開催し、本市を訪れる国内外の観光客を歓迎し、おもてなしできる体制を作るもの。	交流観光課	800人	おもてなし市民会議会員数 延べ540人	未達成	コロナ禍により、クルーズ船寄港やインパウンドが中止となり、おもてなし活動を行う場が減少。オンラインによる研修や会員企画事業の支援など、アフターコロナを見据えた準備やwithコロナにおける新しい形を検討。	継続	5年間で延べ 1,000人/年
4 参画機会の充実 (1) 市民(団体)と行政との「協働」の推進	②協働事業(事業協力・協定・委託・補助・助成・共催・後援等)の促進	地域の資源協働整備事業	地域の団体等と市の協働により、地域資源(悠々の杜、胎蔵山、心字池)の整備とその維持を図る。	交流観光課	継続	・経ヶ蔵登山道整備 ・悠々の杜見晴らし台、遊歩道整備	達成	住民と市の協働により地域資源の整備を図るもので、市民協働の理念を体現するリーディング事業であることから、今後も継続していく。	継続	継続
4 参画機会の充実 (1) 市民(団体)と行政との「協働」の推進	②協働事業(事業協力・協定・委託・補助・助成・共催・後援等)の促進	男女共同参画推進事業	男女共同参画を推進するため、男女共同参画推進センター事業の市民向け啓発講座の事業委託を推進する。	地域共生課	1件	0件	未達成	ウィズの情報誌や文書案内、登録団体との情報交換会の場等を通じて今後も委託講座の開催を促していく。	継続	維持(1件/年)
4 参画機会の充実 (1) 市民(団体)と行政との「協働」の推進	②協働事業(事業協力・協定・委託・補助・助成・共催・後援等)の促進	空き家等ネットワーク協議会	不動産業者、司法書士会等の専門団体で構成される協議会と連携しながら、無料相談会の開催等を行い、空き家等の利活用を促進していく。	まちづくり推進課	20件	8件	未達成	今後も空き家の利活用が進むよう継続していく。	継続	20件/年
4 参画機会の充実 (1) 市民(団体)と行政との「協働」の推進	②協働事業(事業協力・協定・委託・補助・助成・共催・後援等)の促進	きれいな川で住みよいふるさと運動	市民、関係団体の積極的な参加と協力のもと、河川の美化、清掃等を行うもの。	環境衛生課	継続	継続	達成	今後も継続して実施し、河川の保全と県境保護の意識啓発を図っていく。	継続	継続
4 参画機会の充実 (1) 市民(団体)と行政との「協働」の推進	②協働事業(事業協力・協定・委託・補助・助成・共催・後援等)の促進	不法投棄防止対策推進事業	不法投棄監視員(各地区 計28名)による巡視活動。	環境衛生課	10%	8%	未達成	今後も不法投棄監視員によるパトロールや啓発看板による不法投棄件数の減少に努めたい。	継続	維持(10%)
4 参画機会の充実 (1) 市民(団体)と行政との「協働」の推進	②協働事業(事業協力・協定・委託・補助・助成・共催・後援等)の促進	日向地域支え合い活動 (日向ささえあい除雪ボランティア)	豪雪地域であり高齢化率も高い日向地区では、要援護者世帯の除雪が困難なため、地域だけでは不足するマンパワーを補うため市民ボランティアを募集し、1月・2月に実施する除雪ボランティアに市社会福祉協議会とともに協力している。(実施主体:日向コミュニティ振興会)	福祉課	2回	2回	達成	引き続き、活動支援を継続する。	継続	維持(2回/年)
4 参画機会の充実 (1) 市民(団体)と行政との「協働」の推進	③大学と連携した協働の推進	2020東京オリンピック・パラリンピックホストタウンの推進	ニュージーランド研究所からの提言を受け、大学と連携し、ニュージーランドとの交流による市民活動の活性化や共生社会づくりを取り入れる事業などを展開するもの。	交流観光課	継続	・NZ連続講座5回開催 ・バリアフリーマップ作製	達成	国の予算やガバメントクラウドファンディングを活用し、心のバリアフリーなどの共生社会づくりを推進していく必要がある。	継続	継続
4 参画機会の充実 (1) 市民(団体)と行政との「協働」の推進	③大学と連携した協働の推進	地域づくりワークショップ	大学と連携した地域づくりワークショップやフィールドワークの実施により、住民の参画機会を創出する。	各課	継続	継続	達成	市民参加のプロセスをわかりやすくまとめた職員用のガイドラインを作成。今後はガイドラインを活用し、市民参加の促進を図っていく。	継続	継続
4 参画機会の充実 (2) 広聴機能の充実	①パブリックコメントの実施	実効性のあるパブリックコメントへ	現行制度の運用実態を見ると、いくつか問題点があるため、要綱改正や運用の見直しを図ることで本制度の活用を促進する。	総務課	実施		達成	「市民参加を推進するためのガイドライン」に基づき、パブリックコメントの予定の事前公表を行った。	継続	実施
4 参画機会の充実 (2) 広聴機能の充実	①パブリックコメントの実施	パブリックコメントの推進	各課の計画等について、積極的なパブリックコメントの実施を推進する。	各課	継続	継続	達成	市民参加のプロセスをわかりやすくまとめた職員用のガイドラインを作成。今後はガイドラインを活用し、市民参加の促進を図っていく。	継続	継続
4 参画機会の充実 (2) 広聴機能の充実	②市政に対する意見広聴の確保	グループミーティング	市民のグループが市長や副市長と意見交換することにより、対話による市民参画のまちづくりを進めるもの。	市長公室	15回	グループとの意見交換回数 5回	未達成	・グループミーティングと同等のものもカウントすることとする。 ・コロナ禍の状況を踏まえ、10回の目標設定とする。	継続	15回

R2年度 公益活動推進アクションプランの進捗状況

資料1

基本施策・施策の方向性	取組み内容	事業名	内容	担当課	R2年度 目標	R2年度 実績	R2年度目標に対する達成状況	達成状況を踏まえ今後の課題・方向性	今後の方向性	最終R4年度目標
4 参画機会の充実 (2) 広聴機能の充実	②市政に対する意見広聴の確保	提言メールによる広聴活動	提言メールにより広聴活動を行うもの。	市長公室	継続	実施	達成	引き続き取り組んでいく。	継続	継続
4 参画機会の充実 (2) 広聴機能の充実	②市政に対する意見広聴の確保	ふれあいBOXによる広聴活動	ふれあいBOXにより広聴活動を行うもの。	市長公室	継続	実施	達成	引き続き取り組んでいく。	継続	継続
4 参画機会の充実 (2) 広聴機能の充実	②市政に対する意見広聴の確保	計画案等に対する意見交換会等の推進	市の計画案等に対して、市民、団体等との積極的な意見交換会等を行うなど意見広聴の場を作っていく。	各課	継続	継続	達成	条例や、各種行政計画の策定時に、市民参加を促進するガイドラインを企画調整課で作成した。これを活用し、全庁的な市民参加の促進を図っていく。	継続	継続